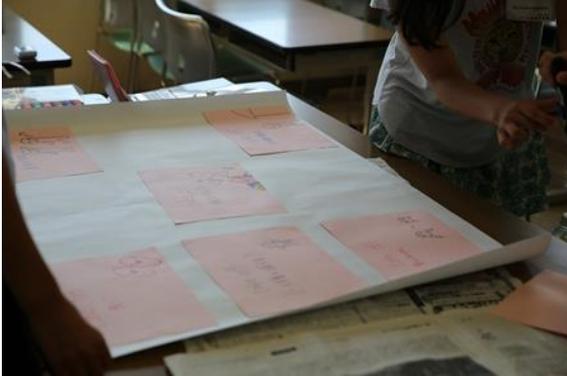


平成27年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT27123

英語句動詞の不思議 -The stain will come out.-



開催日：平成27年 8月5日(水)

実施機関：東京純心大学

(実施場所) (東京純心大学内教室)

実施代表者：高橋千佳子

(所属・職名) (看護学部看護学科教授)

受講生：中学生1名、高校生10名、計11名

関連URL：<http://www.t-junshin.ac.jp/univ/adu/n/141027123054.html>

【実施内容】

[プログラム実施で留意、工夫した点]

- 講義と2つの体験授業の内容が関連しつつも変化を持たせられるよう、パワーポイントや模造紙などを駆使した。
- 学習者の既存の知識を活用しながら、新たな気づきに繋がるような体系的なプログラムになるよう留意した。
- グループワークでは、大学生が各グループに混ざり、昼食も共にして楽しく親しみやすい雰囲気作りに努めた。最後のグループ発表では大学生もメンバーに入り、場を盛り上げた。
- パワーポイントの内容をまとめた配布資料を準備し、書き込み欄も設けた。
- 同一法人の高校英語科教員にプログラム参加募集を依頼し、高校からの参加者確保にも努めた。

[当日のスケジュール]

10:50～11:10	開講式(挨拶・オリエンテーション・科研費の説明)
11:10～11:30	講義「英単語の基本的意味からの拡張」(パワーポイントでの説明)
11:30～12:30	昼食・休憩 (本学 学生食堂にて。参加者全員で昼食)
12:30～13:00	体験授業①「映像で学ぶ句動詞」(映像視聴後、サポート学生が実演) 麦茶を透明のコップへ入れるデモンストレーション
13:00～13:10	休憩
13:10～13:50	体験授業②「句動詞の意味のつながりを考えよう。」(サポート学生が受講生のグループに一人ずつ入ってフォローし、意味のつながりを模造紙に書いて発表した。)
13:50～14:20	クッキータイム・ディスカッション(各グループの発表内容を見ながらディスカッション)
14:20～15:00	修了式・解散(アンケート記入・英文の未来博士号授与)



【パワーポイントでの講義】



【体験授業①映像を見ながら意味のつながりを理解】



【体験授業②グループワークでは、各グループで異なる句動詞を選んで意味のつながりを考える。】



【最後に模造紙にまとめてグループで発表】

【事務局との協力体制】

地域共創センターが日本学術振興会との折衝、会計管理、学内の事務手続きなどを行った。

【広報活動】

ちらしを作成し、高校訪問の際に配布した。また、大学ホームページにも案内を出して周知を図った。

【安全配慮】

講義も体験授業も危険を伴うものではないため、大学で通常加入している保険でカバーできると判断し、個別の保険はかけなかった。ただし昼食については、夏場であるので食中毒の危険を考えて弁当は避けた。また、食物アレルギーに配慮して学生食堂では食券を渡して各自好きなものを食べられるようにした。

【今後の発展性、課題】

- 時期的に大学が定期試験期間中であり、手伝い学生の確保が困難であった。
- 広報のちらしの完成が遅かったため全ての高校訪問に間に合わなかった。次回からは早めに準備を始めた。
- 暑い中での開催であったが、熱心な生徒が集まり活発な議論が出来て予想以上の盛り上がりを見せた。解散後も個別に質問が出るなどして、興味・関心を喚起出来たと自負している。

【実施分担者】

上原文丸(現代文化学部長、地域共創センター主任)、増田光(現代文化学部教授)

【実施協力者】 3名

【事務担当者】

大学事務局 地域共創センター 丸山 幸子